

# もりふれ倶楽部通信 NO. 56

## 「食べごと塾」を振り返って



NPO 法人もりふれ倶楽部理事

土山 幸延

(元 NPO 法人さくらおろち理事長)

「なんときりゃなんだかね？」香ばしい味と粒を噛む歯触りに何とも言えないタイムスリップを感じた方の一言。

NPO法人さくらおろちの前身である尾原ダム地域づくり推進連絡協議会(会長:作野弘和)では、平成22年度に農林水産省から助成を受けて実施した「水源地域の笑顔プロジェクト」の後継版として平成23年度、24年度の2か年間「神話の里さくらおろち・食の学び舎」を実施した時の衝撃の1シーンです。

尾原ダムは昭和47年の大水害を契機に「島根治水100年の大計」として計画され、着工されていきました。地域に開かれたダム湖として湖面にはボート競技施設、周辺道路を活用した自転車競技施設をはじめ雲南市・奥出雲町にまたがる愛称「さくらおろち湖」周辺には様々な施設ができ、ダム建設の為に111戸の移転による急激な人口減少で寂れる地域を、何とか活気あふれる地域にしたいとの思いで、さくらおろち湖周辺に伝わる「食」のスタイルと技を、斐伊川上流域の地元住民と下流域住民が交流しながら食資源の素晴らしさを再発見する「さくらおろちの食べごと塾」に取り組むことになりました。

この企画は、さくらおろち湖周辺の地域づくりに当初から深く関わっていただいた、もりふれ倶楽部の野田真幹事務局長の指導の下、食べごと塾開催(8回)、現代版食の神話づくり(毎月第2水曜日)、農林業の助っ人 スサノオ養成講座(3回)、さくらおろち神話・地域ブランドの確立(メール配信・シンポジウム)に取り組みました。

冒頭の一言は「食の神話づくり」での発言に端を発し、「食べごと塾」で具現化したときのものです。

「地域ブランドの確立」として実施した聞き語りの一部を紹介します。

(原文のまま)

最近、だれんもがね、ここらへんにお一もんが寄るとすぐその話をしてね。「ふるず」(飛龍頭)がね、昔、盆や法事にはどげーでもありよった。

そげに盆なんか、今みたいに焼肉でございますわ、なんでございますわじゃーないでしょ。私たちくらいなもんは「ふるず」はほんとうちそうだったよ。「ふるず」は、がんもどきだけど、そげ

ーじゃーない。麻の実が入っていてぼりぼりとおおばしかった。今は麻の実がないから。それがすごいさみしい。「ふるず」がなくなったのは麻の実のせいだとおもっちゃうだけん。……

(なつかしき「ふるず」(飛龍頭)への思い 泰中静江さん より抜粋)

何とかその「ふるず」を再現してみよう。

このような思いから、宍道町 ふるさと森林公園学習展示館において開催した第1回食べごと塾で当時82歳の泰中さんを講師に招き実現できました。

奥出雲地域に伝わる伝統食の再現をしてみようと企画した「食べごと塾」の最初から、直球がど真ん中に決まり、すべての科車が順調に動き出したのです。

第2回目からは会場を雲南市、奥出雲町、森林公園を順番に回り、テーマは「豆腐」、「煮しめ」、「すもじ」、「餅つきと豆餅づくり」、「七草粥」、「創作和食料理〜かしわそば、赤貝の炊き込みご飯〜」、そして最後は「手打ちうどん」でした。

この企画は、会員の皆様にはDMで、そして下流域(松江市・出雲市)に新聞折り込みチラシで、初年度は各回ともに定員20名で参加者を募りましたが、8回の合計が177人と17名も定員オーバーする人気を得ました。

8回の食べごと塾を終えて感じたことは、斐伊川上流域の肥沃な土と植物の生育に適した寒暖差が相まって食材の素晴らしさを生み出していること、また、伝統料理の一つ一つに地域の生活文化が浸みこんでいることが絶妙の味として残されていることに感激しました。また、スーパーへ行けば何でも手に入る時代の中、本物志向が強くあることに気付いたことです。

2年目の平成24年度は毎回「食材」にスポットを当てて8回開催しました。

第1回は森林公園で「たきな(滝菜)」(滝のようなきれいな水の流れているところに、6月前後限定で食べることが出来る希少な山菜)をはじめ、「梅」、「玉ねぎ」、「そらまめ」、「じゃがいも」、「えんどう」など春野菜をふんだんに使った味噌炒め、かき揚げを体験し、精米したばかりのはで干し仁多米を味わい、旬を満喫しました。

第2回は奥出雲町で夏野菜がテーマ。中でも奥出雲町横田の有機栽培トマトは目玉素材となり、贅沢なミートソースに変身、また、かき玉スープにも使われました。

第3回以降、夏の恵みを楽しむ、古民家で秋の食神話に浸る、女流匠に教わるこんにゃくづくり、寒さも楽しむ食神話、食の恵みに感謝しつつ年を越す、巨大とんどさんと温かいおもてなし料理を楽しむ、をキャッチフレーズに年間ふるさと森林公園で4回、雲南市・奥出雲町で4回計8回開催しました。

中でも第4回、茶室がある古民家「アトリエえん」で開催した「古民家で秋の食神話に浸る」では、地元産のエゴマ、南瓜、ナス、椎茸、地元の米麴に漬けた鮭などをメイン素材とし、山菜おこわ、鮭のムニエル、きんぴらごぼう、糸南瓜生春巻き、エゴマダレ、丸ごとハンプキンプリン、呉汁という豪華なメニューをつくり、実りの秋の落ち着いた景色の中で食する至福な時を過ごすことが出来ました。

「食べごと塾」各回の取り組みは、レシピをデータ化し、HPで公開するとともに、料理中・仕上がり状態を写真で掲載しています。

こうしたダイナミックであり、また、緻密な活動は農林水産省でも高く評価され、翌25年度からの雲南市・奥出雲町単独事業へと継続されたのです。

斐伊川上流域と下流域の「食」を通じた交流は、単に観光で訪れた時とは全く想像もつかない豊

かな資源の発掘と、今日まで脈々と受け継がれてきた生活文化の面にまで深まり、当初の予想をはるかに上回る結果を出すことになった。

スサノオ神話のど真ん中にあり、良質な砂鉄から日本を代表する玉鋼の産地として栄えてきたこの地域ですが、「ここら辺には何にもないけー」と言って生活している多くの方にも大きな自信と勇気を与えてくれたこの事業に感謝するとともに、もりふれ倶楽部の野田事務局長、藤原さん（当時、NPO法人さくらおろち職員）のご尽力に深甚の敬意を表し報告とさせていただきます。

さくらおろち湖周辺は、これからも地に足を付けた取り組みをし、ギバミ（頑張り）ますのでご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

☆第1回の食べごと塾でとりあげた「飛竜頭」

（昔の作り方）

木綿豆腐の水分をふきんなどでしっかりと絞り、すり鉢でよくすります。

炒った麻の実以外にはごぼうと昆布や椎茸などの乾物類を加え、砂糖と塩で味付けします。

つなぎに小麦粉を加えてから、小判状にしたものを油できつね色になるまで低温で揚げます。

他にも煮しめの具を小さく刻み、先ほどの豆腐に加え、団子状にして揚げたものもあった。

季節によって入れる具は変わるが、麻の実だけは食感が特徴的であったので、必ず入れていた。

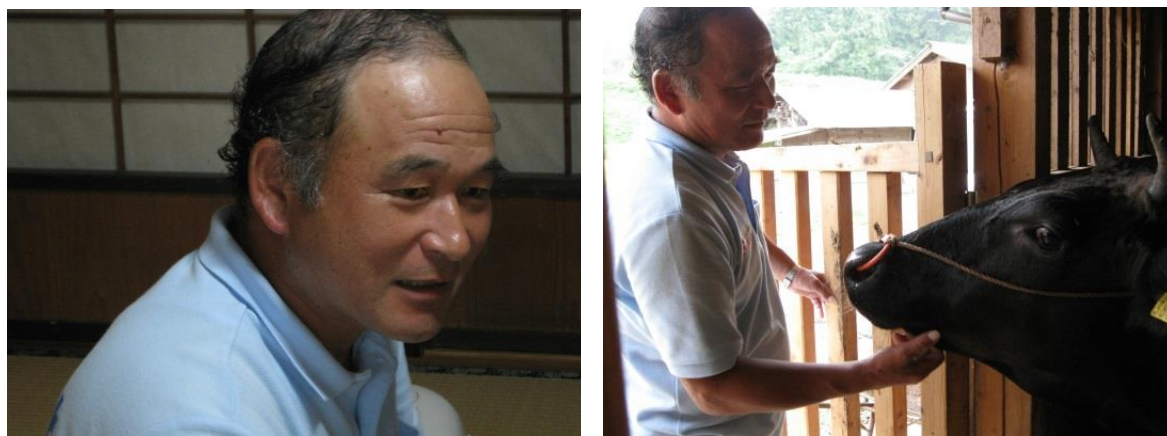


（材料：復刻版）

|   |      |    |   |           |
|---|------|----|---|-----------|
| ① | 木綿豆腐 | 1  | 丁 | (400g)    |
| ② | ごぼう  | 50 | g |           |
| ③ | 麻の実  | 10 | g |           |
| ④ | 塩昆布  | 5  | g |           |
| ⑤ | 干し椎茸 | 30 | g |           |
| ⑥ | 小麦粉  | 20 | g | (大さじ 2 杯) |
| ⑦ | 塩    | 4  | g | (小さじ 1 杯) |
| ⑧ | 砂糖   | 20 | g | (大さじ 2 杯) |

# 「健全な森林を次世代へ」 響繁則氏の農林業

NPO 法人もりふれ倶楽部事務局長 野田真幹



## 林研グループを率いて

平成 26 年 2 月、結成当初より響氏が活動をけん引し、育ててきた仁多郡林業研究グループが、地元奥出雲町での取り組みで、響氏自身が実行委員長を務める「オロチの深山きこりプロジェクト」（全国的に木の駅プロジェクトと呼ばれている事業）の成果が評価され、全国林業グループコンクールで、1 団体のみに与えられる農林水産大臣賞を島根県で初めて受賞しました。NHK ニュースや新聞にも大きく取り上げられ勢いを得た仁多郡林業研究グループは、昔ながらの地域の林業関係者で結成された林業研究グループが加速度的に全国レベルで衰退する中、地元の山林所有者や子供達も巻き込み、活動を広げ、力強い波を起こしました。そのため、仁多郡林業研究グループ自体にも新入会する人も次々と出てきました。現在も、響氏を中心に、チェンソーワークや簡易集材等の技術研修、山林の活用方法等自分たちの実践から生まれたノウハウを伝える研修会等を開催し、精力的な活動を続けています。

## 響氏の農林業

響繁則氏は、昭和 30 年生まれで、島根県立横田高等学校を卒業後、父忠好氏とともに、専業で農林業に従事してきました。主力の原木シイタケ生産では、平成 17 年度に、こちらでも農林水産大臣賞を受賞、その他、所有山林約 13 ha における木材生産では、適時に枝打ちや間伐を繰り返した 40～50 年のスギ・ヒノキが育成されています。これらの森林では、土壌の分野で著名な国土防災技術株式会社の田中賢治氏による土壌分析の結果、土壌構成成分のバランスが大変良好と評価されています。昔ながらのはで干しで無農薬や低農薬の米を生産し、子牛の繁殖和牛等にも取り組んでいます。響氏のシイタケ・米等の農林産物は、奥出雲町に一味同心塾を主宰する NHK の料理番組を長年担当された著名な料理研究家中村成子氏にも高く評価されています。また、島根県の林業界全体にも積極的に関わりを持ち、現在、島根県林業研究グループ連絡協議会会長、指導林家、NPO 法人もりふれ倶楽部理事等を務めています。



## 名人の原木シイタケ生産方法

響氏の原木シイタケの栽培方法は、雑木林を借上げ、そこに生える立木を買い取り、秋にほぼ皆伐して枝葉がついたまま放置し、秋の終わり頃、ナラ類を中心にシイタケ原木を作成し、植菌した後その場所で伏せ込み、乾燥防止のため、周辺に散らばっている枝葉を伏せ込んだホダ木の上に、方向や光の入り具合を考慮しながら、順序良くならべながら重ねて行く裸地伏せという方法で伏せ込みます。このひと手間が、シイタケ菌をホダ木中によく回すコツだと響氏は語ります。その後2回の夏をこのまま越させ、秋には、収穫の場でもあるスギ・ヒノキの造林地へ運びます。これに関して、最近の間伐や枝打ちが遅れ、下草がほとんど生えていない人工林が増加しているため、造林地にホダ木を置かせてもらうかわりに間伐や枝打ちを行うようになったとも語られます。そして、5年程度シイタケを収穫した後には、使命を終えたホダ木は急速に腐って行き、すべて山林の肥やしとなって行きます。

小学生とシイタケ原木の裸地伏せ



裸地伏せの完成



里山循環の教材になる響氏の農林業

## 里山の循環にはまり込む

この響氏のシイタケづくりのストーリーは、しまね森づくりコミッションの出前講座において、雑木林と人の関係や人工林の間伐の大切さの話をするとともに、事例として活用させていただいています。特に、雑木林の皆伐は、子ども達には自然を破壊する行為と受け止められがちですが、炭焼きが盛んであった昭和30年代までは、島根県内の中山間地では、全域で20～30年位のサイクルで雑木林が切られていました。しかし、萌芽更新を中心に自然再生を繰り返しています。そのため、若々しく、様々な年代層のある森林が混在し、多様な動植物が生息できました。エネルギー革命後、雑木林はあまり切られなくなり、島根県での平均年齢は60歳になろうとしています。それにともない、コナラの老木を中心に、ナラ枯れの被害も年々増加しています。また、高齢化した樹木は、萌芽更新しにくくなり、森林の自然再生力も低下してきます。そのことを理解してもらうことは大変重要です。

## 普及者としての「名手・名人」

響氏自身も「健全な森林を次世代へ」のテーマで、島根県の「みーもスクール」の一環で、今年で7年連続、松江市の母衣小学校の高学年の体験学習を受け入れ、原木シイタケの生産現場を見学させたり、自身の山林で間伐体験をさせたり、時には、牛と米生産の関係の話をしながら牛小屋やハデ干しの様子等を見せたりもしています。また、年2〜5校程度の小・中・高等学校へ出前講座にも出かけ、学校林等で実際に裸地伏せのモデル作り等も指導します。特に、高校生には、「こういう生き方もあるよ」と熱心に、循環型の農林業の楽しさ、大切さを伝えようとしています。

他に、響氏はしまね森づくりコミッションの企業への出前講座や斐伊川中流域に建設された尾原ダム周辺でおこなわれた「さくらおろちの食べごと塾」でも講師やコメンテーター等を務め、集まった都市部の中高年の女性参加者達にも循環型農林業のPRと安全な食物がとれる環境の大切さを説いてきました。

森の名手・名人というと、無口な職人的イメージが浮かぶが、響氏は自身の農林業を極めることにとどまらず、それを行うことの意義を人々に伝え続けている稀有な存在であり、今後、ますます活躍が期待されるところであります。





# 平成30年度 もりふれ倶楽部の歩み



## 5月10日（木）出雲商業高等学対応

島根県立出雲商業高等学校において、商業美術科の3年生10名に対して、森の話と学校林を利用した自然体験活動としてネイチャーゲームの指導を行いました。

指導 野田真幹、森下美津子、藤原人美、宮崎徳子

## 5月12日（土）第2回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第2回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

## 5月12日（土）奥出雲町立阿井小学校対応

奥出雲町立阿井小学校全校児童60名に対して、森林教室をおこない、島根県森林インストラクターの池田友紀氏の森の話と島根県森林インストラクター野々村俊成氏等による「木切れ工作」の指導を行いました。1年～6年生混成の班に分かれ、それぞれ島根県森林インストラクター等の指導により、動物等を作成しました。

指導 野々村俊成、内田百合子、池田友紀、野田あや子、藤原人美



## 5月12（土）、13日（日）森林の多面的活用塾

森林の多面的活用塾～多様な森林経営を創造するために～として、第1回研修、森林の相続・購入に関する基本知識研修とモデル新規購入山林の中央線の散策による森林情報取得実践研修、第2回研修、モデル新規購入山林の境界線の散策による森林情報取得実践研修と境界に関する基本知識研修を開催しました。

講師 野田真幹、神田諭、中村正志

## 5月14日（月）み～もスクール 第1回西小学校

雲南市立西小学校4年生17名に対して、第1回み～もスクールとして、野鳥の生態から森林保全の大切さの話と学校周辺で野鳥観察を行いました。

指導 佐藤仁志、野田真幹、藤原人美



## 5月15日（火）み～もスクール 第4回布部小学校

安来市立布部小学校において、第4回み～もスクールを開講しました。同じクラブ活動の3年生～6年生10人に対して、森林保全の大切な話と間伐体験の指導を行いました。

指導 野々村俊成、安部久、野田真幹、野田あや子

## 5月16日（水）み～もスクール 第1回高山小学校

大田市立高山小学校3、4年生13名に対して、第1回み～もスクールとして「人工林の話」と「間伐材の和紙作り」の指導を行いました。

指導 福岡茂明、野田真幹、藤原人美



#### 5月16日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座5（掛合小学校）



雲南市立掛合小学校において、3年生14名に対して「森の話」と「木切れ工作」、4年生26名に対して「森林の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」、5年生26名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「飾り炭作り」の指導を行いました。 指導 野々村俊成、中村正志、池田友紀

#### 5月17日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座6（浜田第2中学校）

浜田市立第2中学校1年生51名に対して、「森林保全の大切さの話」と「ネイチャーゲーム指導」を午前・午後2交替で実施しました。

指導 野田真幹、池田友紀



#### 5月18日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1, 2年生17名に対して、島根県森林インストラクターでネイチャーガイドの池田友紀氏により、森林や自然と親しむ自然体験の指導を行いました。 指導 池田友紀、宮崎徳子



#### 5月19日（土）～20日（日）森林インストラクタースキルアップ研修

（一社）島根県森林協会主催の「島根県森林インストラクタースキルアップ研修」の企画・運営をサポートさせていただきました。

講師 佐藤仁志、野田真幹、中村正志



#### 5月20日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 第1回「新緑の森の散策、野草の天ぷらと竹筒で炊く筍ご飯、米粉ケーキとクロモジ茶を楽しむ」を実施しました。

指導 野々村俊成、池田友紀、近藤純子、藤原人美

#### 5月23日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座7（志学中学校）

大田市立志学中学校において、全校生徒9名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



#### 5月24日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座8（玉湯中学校）

松江市立玉湯中学校において、3年生45名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀、宮崎徳子

#### 5月28日（月）しまね森づくり Kommission 出前講座9（赤屋小学校）

安来市立赤屋小学校1, 2年生9名に対して「森の話」と「木切れ工作」の指導、3年生から6年生23名に「森林全の大切さ」の話と「森林体験」の指導を行いました。 指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀







#### 5月28日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース3年生35名に対して、環境の授業の中で、草木染めの指導を行いました。

指導 池田友紀、藤原人美、宮崎徳子

#### 5月29日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座10（口羽小学校）

邑南町立口羽小学校全校児童29名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野々村俊成、福岡茂明



#### 5月29日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座11（八雲中学校）

松江市立八雲中学校1年生55名に対して、2コマ×2回に分けて、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



#### 5月29日（火）雲南市立三刀屋小学校対応

雲南市立三刀屋小学校2年生20名と21名2クラスに、樹木の学習として、ネイチャーゲームをしながら指導をしました。

指導 池田友紀、藤原人美

#### 5月30日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座12（朝波小学校）

大田市立朝波小学校において、1, 2年生27名に対して、森の話と「木切れ工作」3年生16名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」4年生14名に対して「森林の大切さ」の講義と「樹木学習」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀、宮崎徳子



#### 5月30日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座13（高山小学校）

大田市立高山小学校1, 2年生12名に対して、森の話と学校林の中を探検しました。

指導 池田友紀、藤原人美

#### 5月31日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座14（瑞穂小学校）

邑南町立瑞穂小学校5年生21名に対して、「森林保全の大切さの講義」と「ネイチャーゲーム」「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、豊田真樹子



#### 6月2日（土）第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志



#### 6月4日（月）み〜もスクール 第2回西小学校

雲南市立西小学校4年生17名に対して、第2回み〜もスクールとして、森林作業体験「学校林で間伐、枝打ち体験」を実施しました。

指導 野田真幹、中村正志、野々村俊成、服部恵子、野田あや子、藤原人美

### 6月5日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 15（柿木小学校）

吉賀町立柿木小学校5，6年生15名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「間伐材の和紙作り」の指導を行いました。 指導 野田真幹、高濱実樹恵



### 6月6日（水）み〜もスクール 第1回布部小学校

安来市立布部小学校において、第1回み〜もスクールを開講しました。1，2年生10名に対して、島根県森林インストラクターの池田友紀等により、学校周辺の植物観察を行い、押し葉を使った「葉っぱアート」の指導を行いました。

指導 野田あや子、池田友紀

### 6月6日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 16（西日登小学校）

雲南市立西日登小学校において、3，4年生10名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木観察」、1，2年生11名に対して「森の話」と「木切れ工作」、5，6年生12名に対して「森林の大切さ」の講義行いました。

指導 野田真幹、中村正志、宮崎徳子



### 6月7日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座 17（古江小学校）

松江市立古江小学校5年生40名に対して、2コマ×2回に分けて、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 藤原人美、宮崎徳子



### 6月12日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 18（久手小学校）

大田市立久手小学校5年生33名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子

### 6月12日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 19（仁摩小学校）

大田市立仁摩小学校4年生22名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子



### 6月12日（火）み〜もスクール 第5回布部小学校

安来市立布部小学校において、第5回み〜もスクールを開講しました。今回の対象3～6年生10名に対して、「間伐材の和紙づくり」の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、野田あや子

### 6月13日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 20（都茂小学校）

益田市立都茂小学校において、1，2年生12名に対して、森の話と「木切れ工作」3，4年生11名に対して、森の話と「ネイチャーゲーム」、5，6年生15名に対して、森の話と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵、池田友紀







### 6月14日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座 21（波佐小学校）

浜田市立波佐小学校において、5，6年生7名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」、「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、豊田真樹子



### 6月15日（金）松江市立出雲郷幼稚園・保育園対応

松江市立出雲郷幼稚園・保育園の先生たち15名に対して、園児のお昼寝の時間に2交代で森林に関するレクチャーを行いました。



指導 池田友紀 宮崎徳子

### 6月16日（日）、森林の多面的活用塾

出雲市佐田町において、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏の講演と、大橋慶三郎式作業路開設のための現地踏査研修を行いました。

講師 橋本光治

### 6月17日（日）第2回里山自然塾

島根県主催の第2回里山自然塾「新緑の里山で本格的な笹巻づくりと、高級菓子の友クロモジの爪楊枝づくりを楽しむ」を参加者30名で実施しました。

講師 野々村俊成、中村正志 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子



### 6月23日（土）飯南町研修

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習、丸太を使った大切なチェーンソーワーク実習の2つの研修を同時に実施しました。

講師 遠藤正資、坂越浩一、豊田真樹子 コーディネーター 野田真幹  
スタッフ 服部恵子

### 6月26日（火）みーもサマースクール（荒木小学校）

島根県みーもサマースクールの一環として、出雲市立荒木小学校の児童9名と先生3名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャーラフト体験等の指導を行いました。

指導 中村正志、岡田邦博、長野和秀、森下美津子、大峠百代、藤原人美

### 6月27日（水）みーもスクール 第2回高山小学校

大田市立高山小学校3，4年生13名に対して、第2回みーもスクールとして「ミニ森の健康診断」と「間伐材を使った染め物づくり」の指導を行いました。

指導 中村正志、野田真幹、長野和秀、池田友紀、藤原人美



### 6月29日（金）大田市立高山小学校対応

大田市立高山小学校5，6年生14名に対して、学校林「緑の道」において、間伐材を利用した、森の秘密基地作りの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、岡田邦博、中村正志、豊田真樹子、藤原人美



## 6月30日（土）、7月1日（日）益田市研修

益田市主催の「目立てから始めるチェーンソー研修」の企画・運営を行いました。

講師 遠藤正資、豊田真樹子他      コーディネイト 野田真幹



## 6月30日（土）、7月1日（日）住宅フェスタ対応

松江市のくにびきメッセを会場に開催された「住宅フェスタ」において、竹細工のコーナーを出展しました。指導 岡田邦博、福岡茂明、森下美津子、藤原人美

## 7月3日(火)みーもスクール 第1回母衣小学校

松江市立母衣小学校5年生94名に対して、第1回みーもスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と間伐材を使った「フクロウのキーホルダーづくり」の指導を行いました。2グループに分かれて2種類のコースを交代で受講しました。

指導 野田真幹、中村正志、竹田正彦、藤原人美



## 7月5日（木）みーもスクール 第2回布部小学校

安来市立布部小学校において、第2回みーもスクールを開講しました。今回の対象1～2年生10名に対して、森の話、木切れ工作の指導を行いました。

指導 池田友紀、野田あや子、藤原人美

## 7月7日（土）第4回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第4回大人のための自然観察会を開催しました。指導 中村正志

## 7月8日(日)第3回里山自然塾

島根県主催の第3回里山自然塾「竹は友達！竹筒で炊くリゾットづくりと竹のペーパーボックスの絵付けを楽しむ」を参加者25名で実施させていただきました。

講師 野々村俊成、中村正志、池田友紀

スタッフ 高橋伸明（島根県職員）、藤原人美、宮崎徳子



## 7月10日（火）みーもスクール 第3回西小学校

雲南市立西小学校4年生17名に対して、第3回みーもスクールとして、「間伐材の和紙づくり体験」を実施しました。前回には、間伐体験をしており、その流れで本日の紙漉きとなります。指導 野田真幹、森下美津子、藤原人美

## 7月12日（木）みーもスクール 第3回高山小学校

大田市立高山小学校5，6年生14名に対して、第3回みーもスクールとして、「人工林の話」と「間伐体験・丸太動物づくり」の指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、岡田邦博、藤原人美



## 7月14日（土）森林ボランティア（江津東小学校）

江津市立江津東小学校において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として下刈りを行いました。

メンバー 野田真幹、別木健一、豊田真樹子

## 7月16日（月・祝）森林ボランティア（出雲商業高等学校）

出雲商業高等学校において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として下刈りを行いました。

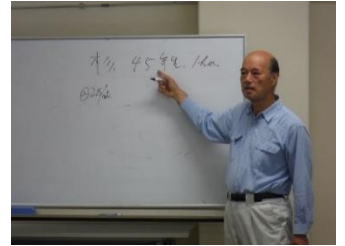
メンバー 野田真幹、野々村俊成、岡田邦博



## 7月17日(火)み〜もサマースクール（大東小学校）

島根県み〜もサマースクールの一環として、雲南市立大東小学校の児童13名と先生4名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、福岡茂明、森下美津子、大峠百代、浜村悦郎、藤原人美



## 7月22日（日）森林の多面的活用塾

森林の多面的活用塾として、出雲市佐田町吉野の山林において「作業路づくり研修」を行いました。講師には、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏を迎えました。

コーディネイト 野田真幹 講師 橋本光治



## 7月29日（日）飯南町研修

飯南町主催の「作業路づくり研修」の企画・運営を行いました。講師には、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏を迎えました。昨年度に引き続き研修前の3日間、橋本光治氏の指導により、モデル作業路が延長されました。

コーディネイト 野田真幹 講師 橋本光治 スタッフ 服部恵子

## 7月31日（火）～8月1日（水）島根県緑の少年団活動発表会対応

島根県緑の少年団連盟主催の「島根県緑の少年団活動発表会」において、参加者約50名に対して、活動発表やキャンプファイヤー運営のサポートの他、間伐材のフクロウのキーホルダー作りや、ネイチャーゲームの指導を行いました。

応援スタッフ 野田真幹、中村正志、福岡茂明、竹田正彦、森下美津子、藤原人美



## 8月4日（土）森林ボランティア（布部小学校）

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備をおこないました。

メンバー 野田真幹、三嶋節夫、遠藤和則

## 8月5日（日）第4回里山自然塾

島根県主催の第4回里山自然塾「大人も子どもも里山であそぼう！昆虫ゲット講座と水てっぽう、けん玉等世代を結ぶ竹おもちゃ講座」を開催しました。参加者32名はネイチャーガイドの池田友紀氏より、昆虫の取り方や標本の作り方を教わり、島根県森林インストラクターの野々村俊成氏に竹を使ったおもちゃ水てっぽう、けん玉の作り方を教わりました。

講師 野々村俊成、中村正志、池田友紀 スタッフ 高橋伸明（島根県職員）、藤原人美、宮崎徳子





## 8月16日（木）松江農林高等学校対応



島根県立松江農林高等学校総合学科地域クリエイト系列2年生10名に対して、飯南町来島公民館で「森の話」と、事前に採取した植物での樹木学習行いました。午後から飯南町松江農林演習林で、チルホールによる伐倒見学とロープを使つての伐倒体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、岡田邦博、響繁則、豊田真樹子、藤原人美

## 8月19日（日）県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 夏の工作「間伐材の丸太で動物を作る！」を実施しました。 指導 中村正志、岡田邦博、豊田真樹子、藤原人美



## 8月25日（土）第5回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第5回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志



## 8月25日（土）飯南町研修

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習、丸太を使った大切なチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習、PC ウインチを使った集材・かかり木処理・伐倒等の研修を実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 遠藤正志、坂越浩一、高濱徹他  
スタッフ 服部恵子、高橋伸明（島根県職員）

## 8月26日（日）川本研修

川本町主催「伐木・造木・集材研修」を国土緑化推進機構 森の名手・名人認定者稲田治夫氏による現地伐倒研修、Sジット女性指導者豊田真樹子氏、吉川奈月氏による目立てとチェーンソーワークの基礎研修を実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 稲田治夫、豊田真樹子、吉川奈月





# もりふれ倶楽部今後の予定2018 9月～12月

9月15日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：東出雲竹林整備

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。午後は市民会議のメンバーも参加

参加費無料・昼食支給 14時から竹焼き米粉ケーキ実演試食会

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所：出雲郷公民館駐車場

前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

9月17日（月・祝）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 江津市立江津東小学校集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌等

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月22日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 出雲商業高等学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌等

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月23日（日）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 来島小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌等

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月24日（月・祝）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：危険木除去

9時50分 来島小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・鋸

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

9月29日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り  
9時50分 出雲郷保育園うぐいす山集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給  
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌等  
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

9月30日（日）10時～12時 樹木医による樹木診断研修 松江市城山公園  
9時50分 県庁郵便局前集合

☆参加者募集中：参加費：無料 島根県樹木医会のメンバーがわかり易く指導していただきます。  
前日正午まで受付ます。

10月6日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：選木と枝打ち  
集合場所：安来市立赤屋小学校駐車場 9時50分

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給  
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・手鋸等  
前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。要事前申し込み。

10月7日（日）9時30分～12時30分 楽山公園普及啓発イベント  
秋の自然観察会、竹細工広場、究極の焼き芋

☆参加者募集中：参加費：無料 ボランティアの成果を確認しましょう！  
集合：楽山公園テニスコート下駐車場  
前日正午まで受付ます・

10月8日（祝・月）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り・竹切  
9時50分 安来市立布部小学校集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給  
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌・手鋸等  
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

10月14日（日）10時～15時 第6回 里山自然塾「秋の里山でキノコ狩り」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内  
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員30名（申し込み順）



10月20日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします

10月27日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈りと危険植物除去

9時50分 出雲郷保育園うぐいす山集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌等

前日正午まで申し込めお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

10月28日（日）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈りと竹の除去

9時50分 出雲郷保育園うぐいす山集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌等

前日正午まで申し込めお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

11月17日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします

11月18日（日）10時～15時 飯南町県民の森ふれあい講座

「熾火グリル鳥の塩麹づけとジャガイモ、紅葉散策、ヒノキの和紙づくり」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工室

持ち物～飲み物・昼食 定員20名（申し込み順）

11月23日（祝・金）10時～15時 第1回 故栗栖誠氏の山林復興ボランティアイベント

☆刈り払い機を持った10人の侍募集 参加無料

集合：栗栖山林入り口9時50分または、道の駅浜田夕陽パーク駐車場下段9時30分

刈り払い持参の場合2千円補助＋車両（軽トラック・軽ワゴン・その他4輪駆動車等）5千円補助

持ち物～ヘルメット・作業関連の道具・雨具・飲み物・弁当 定員10名（申込み順）

11月25日（日）10時～15時 第7回 里山自然塾「プレ里山クリスマス～里山リース・熾

火クッキング」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食（ご飯もの）・雨天時は雨具 定員20名（申し込み順）

※12月1日（土）～2日（日）日本屈指のチェーンソー指導集団Sジットの総帥・石垣正喜氏による  
チェーンソー実技研修 大田市 もりふれ倶楽部後援  
お申込み・詳細は、「銀林の恵み森活プロジェクト」実行委員会  
伊藤様までお願いします。大田市民以外も参加できます。初心者も大丈夫です。 伊藤様携帯 090-6402-5242

12月15日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合  
自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。  
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。  
☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め  
前日正午まで申し込みをお受けします。

12月16日（日）10時～15時 第8回 里山自然塾「ミニ門松・」  
☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内  
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名（申し込み順）



※印以外のイベントのお申込みは、すべて下記もりふれ倶楽部事務局まで

## もりふれ倶楽部通信 NO. 56

### NPO法人もりふれ倶楽部

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール [morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>